九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[04_05]海外大学図書館等視察報告

有川, 節夫

熊谷, 俊夫

深川, 光郎

古賀, 幸成

他

https://doi.org/10.15017/16481

出版情報：海外大学図書館等視察報告. 4-5, pp.1-, 1999-02. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：

海外大学図書館等視察報告

第５集　アメリカ合衆国（北東部）

大瀧　礼二
九州大学附属図書館医学分館

訪問国：　アメリカ合衆国

訪問先：　オハイオ州立大学医学図書館
ジョージ・ワシントン大学中央図書館
ジョージタウン大学医学図書館
ジョージタウン大学中央図書館

期　間：　平成１０年１１月１１日～２０日

平成１１年２月
九州大学附属図書館

目　次

１．はじめに ---------- 1

２．アメリカの大学図書館の資料収集方針 ---------- 2

３．アメリカの大学図書館における資料の選択－図書館員による選択 ---------- 6

４．アメリカの大学図書館における資料の選択－ｱﾌﾟﾙｰﾊﾞﾙﾌﾟﾗﾝによる選択 ---------- 9

５．電子的情報資源の選択・収集 ---------- １２

６．まとめ ---------- １３

1．はじめに

「平成 10 年度九州大学創立八十周年記念事業国際交流基金による事務系職員の海外出張」により、平成 10 年 11 月 11 日（水）から 20 日（金）までの 10 日間の日程で、アメリカ合衆国を訪問した。

訪問の中心的な目的としたのは、「アメリカの大学図書館におけるコレクション形成について」であった。このテーマを選ぶきっかけとなったのは、私の所属する医学分館では資料選択の方法が確立されておらず、蔵書の内容も不備が目立つようになっていたことであった。

日本の大学図書館において、資料収集のための基準や方針が確立されておらず、蔵書の内容が不十分であったり偏りが見られたりすることについては、様々な文献などで言及されている。資料の選択の主体が図書館員ではなく、教官中心であることについても、功罪様々な意見が出されている。一方、アメリカの大学図書館においては資料収集のための方針が作成され、図書館員が主体的に資料収集に関わる体制ができているということも種々の文献などで述べられている。そのため、私は以前から、アメリカの大学図書館はコレクション形成に関して日本とはかなり様相が異なっているとのイメージを持っていた。そこで、そのようなアメリカの大学図書館におけるコレクション形成の実状を見てくれば何か参考になる点があるのではないかと考え、上記のテーマを今回の中心的な訪問目的に据えた。

本稿では、訪問先で伺った話や入手した資料をもとに、大きく分けて以下の 4 つのことについて見ていくことにする。

・アメリカの大学図書館の資料収集方針

日本の大学図書館では成文化された資料収集方針を持つところはあまり多くないように思われるが、アメリカの大学図書館では成文化された資料収集方針を持つのが一般的であると言われている。アメリカの大学図書館の資料収集方針がどのようなものかを見ていく。

・アメリカの大学図書館における資料の選択－図書館員による選択

今回訪問した図書館で伺ったお話では、アメリカの大学図書館における資料の選択には大きく分けて二つの流れがあり、一つは図書館員による選択、もう一つはアプルーバルプランというシステムによる選択である。このうち、図書館員による選択について、資料選択のための体制や利用者の要望の取り入れ方などを見ていく。

・アメリカの大学図書館における資料の選択－アプルーバルプランによる選択

資料選択のもう一つの流れであるアプルーバルプランは、日本の「見計らい」に類似したシステムである。アプルーバルプランの仕組み等について見ていく。

・電子的情報資源の選択・収集

近年増加の著しい電子的情報資源の選択・収集は、従来からの印刷体資料の選択・収集とは異なった側面を持っており、技術的な問題や契約上の問題など、これまでになかった

事項を考慮に入れる必要が出てきている。これらの問題点についてふれる。

今回訪問した機関を以下に記しておく。本稿ではこのうち、オハイオ州立大学 Prior Health Sciences Library（以下、オハイオ州立大学医学図書館）、ジョージ・ワシントン大学 Melvin Gelman Library（以下、ジョージ・ワシントン大学中央図書館）、ジョージタウン大学 Dahlgren Memorial Library（以下、ジョージタウン大学医学図書館）、ジョージタウン大学 Lauinger Memorial Library（以下、ジョージタウン大学中央図書館）の 4 館を中心に、上述した 4 つの内容について見ていくことにする。本稿で述べる内容は、この 4 館を中心として今回の研修で得た情報をもとにしたものであり、ごく限られた範囲の事例によるものである。

＜訪問機関＞

- OCLC（Online Computer Library Center）（オハイオ州ダブリン）
- OhioLINK（Ohio Library and Information Network）（オハイオ州コロンバス）
- オハイオ州立大学（Ohio State University）（　　〃　　）
  - Main Library
  - Prior Health Sciences Library
- アメリカ国立医学図書館（National Library of Medicine）（メリーランド州ベセスダ）
- ジョージ・ワシントン大学（George Washington University）（ワシントン D.C.）
  - Melvin Gelman Library
- アメリカ議会図書館（Library of Congress）（　　〃　　）
- ジョージタウン大学（Georgetown University）（　　〃　　）
  - Dahlgren Memorial Library
  - Lauinger Memorial Library

2．アメリカの大学図書館の資料収集方針

アメリカの大学図書館では、資料収集方針（Collection Development Policy）を作成するのが一般的であると言われている。アメリカで資料収集方針が重要視され、成文化されるようになった背景としては、文献資料の生産と流通が多様かつ複雑になってきたこと、収集対象とする資料の範囲が拡大してきたこと、従来の学問領域の枠を超える新しい研究領域が出現・発展してきたことや、出版量の増大や大学財政の逼迫などの要因が考えられている（『コレクションの形成と管理』「講座図書館の理論と実際」第 2 巻 三浦逸雄ほか著 東京，雄山閣出版，1993　p.87）。

今回私が訪問した大学図書館でも、それぞれ資料収集方針を作成していた。ホームページ上で資料収集方針を公開している図書館も多く見られる。最初にこの資料収集方針について見てみたい。

2-1．資料収集方針の内容

資料収集方針にはどのようなことが書かれているのだろうか。Gardner は、方針に取り上げるべき事項とその順序について以下のようなものをあげている（『大学図書館の管理と運営』岩猿敏生ほか著　東京，日本図書館協会，1992　p.62-63）。

1.序
2.目標（図書館及び大学の目的）
3.選書方針
4.問題領域（複本、汚損や紛失など）
5.図書以外の資料
6.寄贈書
7.廃棄
8.知的自由
9.改訂（方針の改訂）

また、今回私が訪問した図書館で入手した資料収集方針に共通して記述されている内容をまとめると、おおよそ以下のようになる。

・資料収集方針を作成する目的
・図書館の歴史・役割・組織
・蔵書数・蔵書の特徴
・サービスの対象者
・学生のカリキュラム・研究者の研究プログラム
・図書館外から得られる情報（共通貸出・ILL・オンラインリソース等）
・資料収集のガイドライン

資料収集方針を作成する単位は、図書館の性質や規模によって様々である。総合大学の中央図書館であるジョージ・ワシントン大学中央図書館やジョージタウン大学中央図書館では、総論的な部分は一本にまとめて記述されているが、より具体的な部分については学問分野ごとに方針を作成している。一方、特定の分野を対象としているオハイオ州立大学医学図書館やジョージタウン大学医学図書館では、対象とする分野を細分化した主題ごとに別個に方針を作成することはせず、一つの方針の中で主題ごとの選択のレベルを示すなどの方法をとっている。

2-2. 資料収集のガイドライン

資料収集方針のメインになるのは、上記の中の「資料収集のガイドライン」の部分であろうと思われる。次にこのガイドラインの部分でどのようなことが書かれているかを、今回入手した資料収集方針をもとに見てみる。内容としては、おおよそ以下のようなことが書かれている。

・どの学術レベルまで収集するかの選択のレベル

・資料の種別ごとの規定（テキストブック、モノグラフ等）
・資料の形態ごとの規定（ビデオテープ、CD-ROM 等）
・資料が記述されている言語に関する規定
・資料が内容的にカバーする年代に関する規定
・資料の出版年に関する規定
・資料が内容的にカバーする地理・地域に関する規定

どの学術レベルまで収集するかという選択のレベルを表す方法は、図書館によって様々である。以下にいくつかの例を紹介したい。

オハイオ州立大学医学図書館では、資料収集方針は医学関連分野としてひとつにまとめて作成されている（資料１）。Dの「Scope of Collecting Activity」の部分で、アメリカ議会図書館（以下、LC）の分類項目を用いて収集すべき主題を指示し、選択する範囲を示しているが、どの学術レベルまで収集するかといった細かい規定はこの部分では行っていない。逆に収集しない主題や、学内の他の図書館と関連する主題なども、方針の中で示している。

ジョージタウン大学医学図書館では、オハイオ州立大学医学図書館同様、資料収集方針は医学関連分野でひとつにまとめて作成されている（資料２）。LC の分類項目とアメリカ国立医学図書館の分類項目をアレンジした項目ごとに、選択する学術レベルを level1 から level4 の 4 段階に分けて指示している。各々のレベルの意味は、level1 は最低限のレベル、level2 は基本的な情報のレベル、level3 は学習レベル、level4 は研究レベルである。また、収集しない主題についてもその旨が指示されている。

ジョージ・ワシントン大学中央図書館の資料収集方針は、前述の通り学問分野ごとに作成されているが、項目立てや記述内容などは定められたフォーマットに従って一定のパターンで記されている（資料３）。ここにあげたのは「コンピュータ・サイエンス」の資料収集方針の例である。Ⅲの「General Collection Guidelines」が資料収集のガイドラインの部分である。A から D で、言語や内容的にカバーする年代、出版年、カバーする地理・地域による規定がされており、その後の E の部分で、学術レベルや資料の種別によるガイドラインを記している。学術レベルは、対象となるレベルを「学生レベル」、「院生レベル」、「研究レベル」といった表現で表し、資料の種別や内容ごとにどのレベルが対象となるのかを規定している。

ジョージタウン大学中央図書館でも前述の通り学問分野ごとの方針が作成されている（資料４）。これは「経済学」の資料収集方針の例である。この図書館の資料収集方針の特徴は、コンスペクタスという方式を採用している点である。

コンスペクタス方式というのは、RLG（The Research Libraries Group）が考案した蔵書評価のためのシステムである。LC の分類項目に沿って、現在のコレクションのレベルや今後のコレクションの目標レベルを示す。レベルは数字と小文字のアルファベットを用いて表されている。各レベルの意味は以下の通りである（『ALA 蔵書の管理と構成のためのガイドブック』 アメリカ図書館協会図書館蔵書・整理業務部会編　東京，　日本図書館協会，1995　p.75-76）。

0 －収集しない
1 －最小レベル
1a －最小レベル－不揃いな収集
1b －最小レベル－むらのない収集
2 －基本情報レベル
2a －基本情報レベル－入門段階
2b －基本情報レベル－上級段階
3 －学習・教育支援レベル
3a －学習・教育支援レベル－入門段階
3b －学習・教育支援レベル－中級段階
3c －学習・教育支援レベル－上級段階
（『ガイドブック』では、入門段階である 3a と上級段階である 3b しか規定されていない。この部分は、ジョージタウン大学中央図書館によってアレンジされているようである）
4 －研究レベル
5 －包括レベル

このレベルに資料の言語を表す大文字のアルファベットを付けている。E はほとんどが英語の資料であることを表す。

レベルを表示する列は 2 つあるが、左側の CL は Current Collection Level、すなわち現在の蔵書のレベルを表す。右側の GL は Collection Goal、すなわち目標とするレベルを表している。例を示してみると、下から 4 行目の「Economics-industry (general)」という項目については、CL=現在の蔵書レベルは 3c、つまり「学習・教育支援レベル－上級段階」で大文字の E が付いているので主に英語の資料により構成されているということを表す。一方 GL=目標とするレベルは 4、すなわち「研究レベル」となっている。

2-3. 資料収集方針の改訂・追加

このように各館様々な形で資料収集方針を作成しているが、こうして作成された方針はもちろん固定されたものとなるのではなく、環境・状況の変化に合わせて見直しや追加がなされている。新たな学問分野が加わればその資料収集方針が作成される。また、新しいタイプの資料が出てくれば、それに応じた収集方針も作成される。例えば、近年増加の著しい電子的情報資源の収集のための方針なども作成されている。資料 5 はオハイオ州立大学医学図書館で作成されている電子的情報資源のための資料収集方針の例である。内容的には、対象とする資料の範囲、対象とする利用者、アクセスの方法に関すること、選択の基本的な考え方の他に、この例に見られるように電子的情報資源を購入する際の評価のポイントや、職員や利用者のトレーニングなどについて記されている。

2-4. 資料収集方針の機能

ジョージタウン大学中央図書館の資料収集方針では、「Introduction」の部分で資料収集方針がどのような人達の役に立つかを記しているが、それをまとめると以下のようになる。

・図書館員－コレクション形成担当職員や資金に関する活動に携わる職員へのガイドライン
・教官－大学のカリキュラムに関連した図書館コレクションに関する情報
・管理者－計画の決定のための情報
・学生－図書館コレクションへの案内
・他の大学図書館－ジョージタウン大学中央図書館のコレクション形成のポリシーに関する情報

資料収集方針の機能としては大きく分けて二つの機能が考えられている（三浦逸雄ほか著　前掲書　p.88-89)。一つは「計画策定機能」、もう一つは「コミュニケーション機能」である。「計画策定機能」とは、コレクション形成に携わる図書館員に図書館コレクションの理解を促すものである。一方、「コミュニケーション機能」には「内部コミュニケーション」と「外部コミュニケーション」がある。「内部コミュニケーション」は利用者やコレクション形成担当職員以外の図書館員、管理者などに情報を与えるもの、「外部コミュニケーション」は他の図書館や業者に情報を与えるものである。これらは上記のジョージタウン大学中央図書館の収集方針の記述と合致する。

コレクション形成担当職員へのガイドラインとしての機能は容易に考え得るものであるが、上記の「コミュニケーション機能」は意外に見落とされがちなのではなかろうか。資料収集方針は、利用者をはじめとする様々な人への情報提供の役割を担っている。図書館での資料閲覧や貸出といった利用面から図書館のサービスを規定し、成文化したものが利用規則である。これに対し資料収集方針は、図書館のコレクションという側面から図書館サービスを規定し成文化したもので、利用規則と同様に利用者をはじめとする人達に提供され、図書館利用の手助けとして機能するものである。

３．アメリカの大学図書館における資料の選択－図書館員による選択

アメリカの大学図書館では、上述したような資料収集方針が資料選択のベースとなっているが、具体的な資料選択には大きく分けて二つの流れがある。一つは図書館員による選択、もう一つはアプルーバルプランというシステムによる選択である。このうち、まず図書館員による選択について見ていきたい。

3-1. アメリカの大学図書館の Librarian

その前に、アメリカの大学図書館の図書館員（Librarian）が日本の大学図書館の図書館員とどのように異なっているかについて、Librarian の大学の中での位置付けや役割などについて書かれた論文を参考にして簡単にふれてみたい。

アメリカの大学図書館員は、専門職の Librarian と非専門職の Support Staff に分かれる。資料選択のような業務に携わるのは専門職である Librarian である。Librarian の身分は図書館によって 2 つのパターンに分けられる。一つは教員と同じ身分体系の中に位置する

Faculty Staff であり、もう一つは専門職として独立した身分体系の Academic Staff であるが、いずれにしても図書館員という職業は専門職として認知されている。採用は日本と違って特定のポストに対して行われる。また、昇進に際しては決められた年限内に一定の基準をクリアするだけの実績を残す必要があり、いくつかあるこうしたハードルを越えられないと、その段階で大学を去らないといけないという厳しいものである（関川雅彦「米国大学図書館の組織について－“人”の問題を中心に－」『大学図書館研究』43, 1994 p.43-53)。

また、Librarian は一般的に日本の大学院に相当する Library School を卒業しているが、その上に別の分野の修士号や博士号を持つことを求める図書館も少なくない。こうした学位を持つことは、図書館から即戦力と見なされることにつながる（Grosch MF「Differences between Japanese and American academic libraries, librarianship and library education」『私立大学図書館協会会報』95, 1990 p.78-97)。

このように、アメリカの大学図書館の Librarian は、求められる力量や雇用の形態などにおいて、日本の特に国立大学図書館の図書館員とはかなり異なっている。

3-2. 資料選択のための体制

アメリカの大学図書館でも、1950 年代までは日本と同様に教官が資料選択の中心的な役割を果たしていたらしい。しかし 1960 年代に入って、教官が大学外の活動に関わることが増えてきたことや、研究の性質が学際的なものになって資料選択にも総合的な視野が求められるようになってきたことなどによって、教官が資料選択に携わるだけの十分な余裕がなくなってきた。またそのような状況に合わせて、後述するサブジェクト・スペシャリストのような職務を持つ図書館員が増えてきて、図書館員の専門性が高まってきたのもこの時期であり、資料選択の主体が教官から図書館員へとシフトしてきた。そして、その状態が現在まで続いている（Grosch MF 前掲論文)。

資料選択の体制としては、複数の図書館員が学問分野ごとに割り当てられ、その分野に関する資料収集に責任を持つという形をとることが多い。そして、コレクション形成部門の専門職員が、予算の配分など全体のコーディネートを行うという形が一般的なようである。

オハイオ州立大学医学図書館では、まずオハイオ州立大学全体として学問分野ごとに職員の割り当てがあり、医学関連分野については医学図書館のコレクション形成部門の専門職員の名前があげられている。さらに、医学図書館の中で医学関連分野を主題ごとに細かく分け、全部で 50 を超える主題を医学図書館の 8 名の職員で分担して選択を行っている。但しこの図書館では、図書館員による選択の 80 ～ 90%はコレクション形成部門の専門職員 1 名が行っているとのことである。他の職員には、コレクション形成に割く十分な時間的余裕がないとのことであった。雑誌の選択も、コレクション形成部門の専門職員により行われている。

ジョージ・ワシントン大学中央図書館では、サブジェクト・スペシャリストという名称で 26 名の図書館員を 100 を超える分野に割り当てている。オハイオ州立大学医学図書館や、後述のジョージタウン大学中央図書館でも同様だが、一人の職員が複数の学問分野を担当することも当然起こってくる。コレクション形成部門の専門職員が予算の計上などを

行い、サブジェクト・スペシャリストはその範囲内で担当分野の資料選択を行う。この図書館では、雑誌の選択もサブジェクト・スペシャリストが行っており、選択されたタイトルはコレクション形成部門の専門職員による承認を経て、発注される。サブジェクト・スペシャリストは、資料選択以外にも、レファレンス調査の相談にのったり、図書館で実施する教育プログラムの作成に携わるなど、担当分野のレファレンス的な業務全般を受け持つようである。

ジョージタウン大学中央図書館では、ライブラリー・リエゾンという名称で 31 名の図書館員が学問分野を分担し、資料の選択を行っている。但し雑誌の選択については、この図書館では教官が中心となって行っているようである。選択されたタイトルを購入するかどうかの最終的な判断は図書館員が行っている。

上記の 3 館では、資料選択担当者とその担当分野・主題をホームページ上に掲載しており、利用者はホームページから情報を得ることができる。また、各担当者のメールアドレスなども掲載されており、資料選択に関して担当者とコンタクトをとることができるようになっている。

なお、ジョージタウン大学医学図書館では、このような体制はできていないとのことであった。主に予算的な種々の事情から、コレクション形成担当の人員の削減などがあり、資料の選択は館長中心になされているとのことであった。

3-3. 資料選択のための専門知識

上述したような資料選択の体制が機能するには、図書館員が担当分野に関する知識を持つことが必要となる。図書館員が持つ資料選択のための専門知識について次に見てみたい。

オハイオ州立大学医学図書館では、資料の選択を担当する 8 名の職員はそれぞれ何らかの学位を持ってはいるが、各自の担当分野と直接関連する学位を持った職員はいない。これらの職員は、担当分野に関する情報を得るために、部局などで開かれる会議に出席したり、病院内で行われるプレゼンテーションに参加したりして、学内の教官が現在どのような領域で研究を行いどのような論文を執筆しているのかといったことや、学生のカリキュラムなどについて把握するように努めている。

ジョージ・ワシントン大学中央図書館では、約半数の職員が、担当分野の少なくとも一つの学位を持っている。学位は学士号から博士号まで様々である。専門知識を持つ職員のいない担当分野については、職員のトレーニングが必要なこともある。

ジョージタウン大学中央図書館では、言語に関する分野や地理・地域に関する分野など、担当する分野によっては、職員は通常その分野の修士号を持っている。それ以外の分野では学士号も許容されるが、コレクション形成部門の専門職員のお話では、修士号レベルを持っていることが望ましいとのことであった。この図書館では、約 75%の職員が担当分野の学位を持っている。専門知識を持つ図書館員がいない分野については、コレクション形成部門の専門職員が協力したり、教官とのコンタクトを密にとるなどして対処している。この図書館では、そういった手薄な分野についてはその分野に関する専門知識を持った職員を公募して採用することもしている。しかし、常に図書館の要望に応えられるだけの能力を持った職員が得られるわけではなく、”リプレース”が必要な職員も抱えているとのことであった。また、この図書館では、資料選択についてのトレーニングプログラムを持

っており、ライブラリー・リエゾンとしての任務を職員に徹底させることなどを行っている。さらに、職員の資料選択者としての仕事ぶりの評価・判定も行われている。

こういった図書館員が資料選択のために使用するツールは特別なものではない。出版社のカタログやパンフレット、書評、「Books in print」などの書誌類等に目を通し、出版情報を入手して資料選択を行っている。

3-4. 利用者からの要望

これらの図書館では、図書館員は自分の担当分野に関する学位を持つこともあり、また様々な方法で教官の研究動向を追跡したり学生のカリキュラムを把握するなどして、利用者にとって適切な資料を選択できるような仕組みができているが、それとは別に利用者からの直接的な要望も受け入れている。オハイオ州立大学医学図書館では、ホームページ上に資料購入希望のリクエストフォームを設けており、ここから申し込みができるようになっている。同様なフォームはジョージ・ワシントン大学中央図書館やジョージタウン大学中央図書館でも持っており、その他に多くの大学図書館でこのようなフォームを作成している。これ以外にも、もちろん紙媒体のフォームでの申し込みや、電子メールを使っての申し込みも可能である。

ジョージタウン大学中央図書館では、後述するアプルーバルプランで業者から送付されてきたスリップを教官に送って、必要かどうか選定を依頼するということも行っている。

利用者からの要望によりどの程度の資料を購入しているのかを以下に見てみる。

オハイオ州立大学医学図書館では、利用者から要望のあった資料は原則的に購入することにしている。但し、オハイオ州立大学内の他の図書館やオハイオ州立大学が加盟しているライブラリー・コンソーシアムである OhioLINK 加盟館で所蔵している資料は、そういった図書館から貸出可能なので購入しない。また、学内の他の図書館で所蔵する方が適切と判断される資料もこの図書館では購入しない。それ以外の資料は原則として購入される。大体週に 3 冊程度はこのようなリクエストにより購入しているとのことである。学内の科学系図書館のコレクション形成担当職員は、定期的に会合を開いたり電子メールをやり取りしたりして、利用者からのリクエストに関する情報を交換している。

ジョージ・ワシントン大学中央図書館では利用者からの要望により購入する資料の割合は 5%弱程度に過ぎない。一方、ジョージタウン大学中央図書館では上述したスリップによる選定依頼も含め、25%程度が利用者からの推薦や要望により購入されているとのことである。但し、内容によっては、例えば公共図書館で所蔵する方が適当と考えられるような資料などは、図書館では購入しないとの判断が下されることもある。

4．アメリカの大学図書館における資料の選択－アプルーバルプランによる選択

資料選択のもう一つの流れは、前述の通りアプルーバルプラン（Approval Plan）というシステムによる選択である。次にこのアプルーバルプランについて見てみたい。

4-1. アプルーバルプランとは

最初にアプルーバルプランの仕組みについて説明する。アプルーバルプランとは、日本の「見計らい」のシステムに類似している。色々な出版社の資料を取り扱う業者と契約し、図書館の要望にあった資料を送付させるというものである。

図書館はまず、自館の要望を業者に示すためにプロファイルと呼ばれるものを作成する。このプロファイルに基づいて、業者は二つのパターンで図書館に情報を送る。一つは、資料の現物を送るというものである。図書館では送られてきた資料を実際に手に取って必要かどうか判断し、必要ならば購入し、必要でなければ業者に返品する。もう一つのパターンは資料のリストやスリップのみを送るやり方である。この場合は、図書館はリストやスリップからの情報でその資料が必要かどうか判断し、必要ならば発注する。このような資料やリスト等は、概ね1週間単位で送られてくる。

4-2. プロファイル

図書館は自館の要望を業者に示すためにプロファイルと呼ばれるものを作成する。次にこのプロファイルがどういうものかを見てみたい。

オハイオ州立大学医学図書館のプロファイル（資料６）では、学問の主題ごとに項目が立てられており、その主題に関する資料をどのようなパターンで送ってほしいかということを記号を用いて表している。この例では、「F」は Firm Order を意味し、この主題についての資料は現物を送ってほしいということを表している。「A」は Approval Only を意味し、この主題についての資料は資料のリストのみを送ってほしいということを表している。また「NO」は、この主題についての資料は必要ないということを表している。

この図書館のアプルーバルプランは、4-1. で説明した流れとは若干異なっている。プロファイルで「F=Firm Order」と指定された主題の資料は業者の選択通り無条件に受け入れており、返品は行っていない。また「A=Approval Only」と指定された主題の資料については、業者からオンラインで資料のリストが送られてきて、そのリストをもとに購入するか否かを判断する仕組みになっている。

資料７はジョージ・ワシントン大学中央図書館で使用しているプロファイルの例である。これは業者が用意しているプロファイル用の冊子で、180 ページ近くに及ぶものである。LC の分類に従って項目が分けられており、各項目ごとに記号を用いて、どのようなパターンで資料を送付してほしいかを指定する。記号は左上隅に記されている。「B」は Book を意味し、その主題については資料の現物を送ってほしいということを表す。「F」は Form を意味し、その主題については資料のスリップを送ってほしいということを表す。「N」、「X」はその主題についての資料は送らなくてもよいことを意味する。該当する記号部分にチェックを入れ、業者に指示を与える。また、この図書館では、資料の価格の上限を定めておいて、それを超えるものは資料のスリップのみを送ってほしいとか、資料の形態によって、例えばルーズリーフ形態のものは資料のスリップのみを送ってほしいといった指示もプロファイルによって行っている。プロファイルのページ右側にあるのは参照を示す記述である。SN は Scope Notes、SA は See Also Notes、SU は See References を表している。

プロファイルの内容の変更は、大学のカリキュラムや教官の研究動向の変更などに応じて行われる。ジョージ・ワシントン大学中央図書館では、プロファイルを作成するにあた

って教官と協力し、教官の要望を受けるなどしている。ジョージタウン大学中央図書館でも、プロファイルの作成について教官と協力することがあるとのことだが、基本的な部分は資料収集方針ですでに規定されており、これをベースにしてプロファイルが作成されている。オハイオ州立大学医学図書館では、教官はプロファイルの作成にはタッチしないが、この図書館がサービス対象としている主題の資料がカバーされるような形でプロファイルを作成するようにしているとのことであった。

またこの他に、オハイオ州立大学医学図書館では、アプルーバルプランによって送られてきた資料や情報については、一定期間ごとに業者がリストを作成している。リストにはLC の分類項目ごとに、プロファイルで「F」と指定され資料現物が送られてきたものと「A」と指定され資料のリストが送信されてきたものとを合計した数、その内この図書館で受け入れた数、受け入れなかった数が記録されている。そして、受け入れなかった資料のパーセンテージが算出されており、このパーセンテージを参考にして、受け入れなかった割合の低い主題についてはプロファイルのレベルを「A」から「F」に変更する、というようなことも行われている。

4-3. 業者の選択

アプルーバルプランでは、どの業者を選択し契約するかが重要なポイントとなる。業者を選択する基準としては以下のようなものが挙げられていた。

- カバーしている出版社
- カバーしている分野
- タイムリーな資料を提供できるか
- 価格の割引率
- 図書館の要望にあった形で請求書類を作成できるか
- 業者とオンラインで情報をやり取りする場合は、図書館システムと業者のシステムとのインターフェース
- 資料選択者の質の高さ
- プロファイルの追加・削除への適応性や能力
- 外国資料の取り寄せ能力

オハイオ州立大学医学図書館では、Matthews Medical Books という業者 1 社と契約している。契約期間は 3 年間で、3 年を過ぎると 1 年間の更新が 3 回まで可能である。ここ 10 年間ほどはこの業者と契約を続けているとのことである。

ジョージ・ワシントン大学中央図書館が契約している主要な業者は Blackwell North America である。この図書館ではこの他に、芸術分野について Harrassowitz、エンジニアリング分野について Blackwell Oxford と契約し、さらにロシア語の資料についてはまた別の業者と契約しており、計 4 社と契約している。契約は 1 年単位で行われている。

ジョージタウン大学中央図書館では、約 10 の業者と契約している。英語の資料の大部分は、ジョージ・ワシントン大学中央図書館同様、Blackwell North America が取り扱っている。この他に、言語や分野によって Harrassowitz、Puvill、Touzout、Cassalini などの業者

と契約している。この図書館では、業者の持っているデータベースファイルにアクセスすることが可能になっており、最新の書誌情報を得ることができる。図書館員によって選択された資料とアプルーバルプランによって選択された資料の重複を避けるためにこのファイルを検索するなどして、役立てられている。

4-4. 付加的なサービス

アプルーバルプランでは単に資料を図書館に送付するだけでなく、様々なサービスを付加することが行われている。

オハイオ州立大学医学図書館では、1999年1月よりMatthews Medical Booksからアプルーバルプランによって納品される資料について、まずOCLCで目録を作成し、その後背ラベルや貸出用のバーコードラベルを貼付した上で納品させるサービスを開始する予定であるとのことであった。

ジョージタウン大学中央図書館では、貸出用のバーコードラベルや無断持ち出し防止用のタトルテープを貼付したり、ペーパーバックの装丁のものを製本するといったサービスを付加して納品される仕組みになっている。今後は目録作成のサービスを加えることも考えているとのことであった。

このようなサービスを付加することにより、図書館の業務を省力化するのと同時に、利用者に資料を提供するまでのタイムラグの短縮をはかっている。

4-5. アプルーバルプランによる資料選択の割合

アプルーバルプランによってどの程度の資料が選択・購入されているかの割合を図書館ごとに見てみる。

オハイオ州立大学医学図書館では、アプルーバルプランによって図書全体の約70%の資料を購入している。ジョージ・ワシントン大学中央図書館では少し低くなって50%弱、ジョージタウン大学中央図書館では40%程度となる。なお、ジョージタウン大学医学図書館ではアプルーバルプランは使用していなかった。

5. 電子的情報資源の選択・収集

近年、CD-ROMのネットワークによる提供や電子ジャーナルの普及に代表されるように、電子的情報資源の増加が著しい。資料選択の面から言えば、電子的情報資源の選択は従来からの印刷体資料の選択とはかなり異なった側面を持っている。この項では、電子的情報資源の選択や収集が抱える問題点などについてふれてみたい。ただ、このテーマについては、今回の訪問では残念ながらあまり詳細な話を聞くことができなかった。したがって、以下では問題点等を列挙する形にとどめることにする。

5-1. 電子的情報資源の選択・収集に関する問題点

電子的情報資源と印刷体資料との最も大きな違いは、資料を利用するのに様々な機器が必要になる点である。ネットワークで提供するとなるとさらに複雑な要素がからんでくる。

また、電子的情報資源の導入にあたっては、契約に関することや商業的なことについて印刷体資料にない問題点が出てきている。電子的情報資源の市場はまだ成熟しておらず、出版社としてもこの市場をどのように扱えばよいのかまだ答えを出し切れていない状態のようである。以下に、これらのことについて今回訪問した図書館から問題点として挙げられた事項を列挙する。

・ハードウェアの互換性に問題のあるものがある
・システムのプラットホームやユーザインターフェースが多様で統一されていない
・ネットワーク上で提供可能なものとそうでないものがある
・論文中の図や写真の品質が印刷体に比べて見劣りする
・ネットワーク上での利用者の認証が困難なことがある
・価格が高い。また、価格が安定していない
・印刷体と電子体とで完全に整合がとれていないことがある（号の欠落や印刷体の内容の一部が電子化されないなど）
・印刷体の購読と電子体の購読をどのように組み合わせるかの判断が難しい
・同一大学でも、キャンパスごとのライセンス契約が必要になるケースなどがある
・バックナンバーの検索が保証されるのかどうかといったことや、今後同じ業者が継続してデータを供給可能なのかが明確でない

5-2. 電子的情報資源の選択

オハイオ州立大学医学図書館では、電子的情報資源の収集について職員に対する特別なトレーニングは行っていない。資料選択担当職員が、有益な電子的情報資源を見つけるとそれをコレクション形成部門の専門職員に知らせ、コレクション形成部門の専門職員がその情報資源のサンプルやトライアル版を求めて、購入するかどうかを決定するという形をとっている。

これに対し、ジョージタウン大学中央図書館では、電子的情報資源の収集についてのトレーニングプログラムを持っているとのことであった。購入にあたっては、ライブラリー・リエゾンが必要と考えられる電子的情報資源を選択し、コレクション形成部門の専門職員に知らせ、価格等について話し合いを行う。また、コレクション形成部門の専門職員は、システム部門の職員とコンタクトをとり、その電子的情報資源を購入する場合に求められるシステム面に関する事柄について話し合いを行う。

ジョージ・ワシントン大学中央図書館では、資料選択の担当者がライセンス契約に関する資料を読みこなすだけの知識を求められるようになるなど、資料選択担当者の職務内容に変化が生じてきているとのお話があった。

6．まとめ

以下に、今回アメリカの大学図書館を訪問して、コレクション形成について感じたことを記してまとめとしたい。

6-1. 成文化された資料収集方針

今回訪問した大学図書館では、いずれも成文化された資料収集方針を持っていた。図書館にとって、様々なサービスの基盤となるものとして電子的情報資源を含めたコレクションの内容が重要であることは言うまでもない。しかし、コレクションを構築するための方針が、多くの図書館で成文化された形で保持されていないのが日本の大学図書館の現状である。

本稿でもふれたように、資料収集方針は資料選択に携わる図書館員のガイドラインとしての役割や、利用者をはじめとする内部・外部の人達への情報提供の役割を担っている。アメリカの大学図書館が作成しているような資料収集方針を日本の大学図書館で作成することは困難であろうが、各館に応じた形で方針を成文化することは有益であろうと思われる。新しく収集方針を作成するには時間と労力が必要になると思われるが、現在の資料収集の方式を文章にして表すだけでも、コレクション形成に対する意識の向上をはかる上で役に立つのではないだろうか。

6-2. 図書館員の専門知識

上述した資料収集方針は、資料選択担当者にとっては資料選択のベースとなるガイドラインの役割を果たすものである。よりよいコレクション形成が行えるかどうかは、その資料収集方針をふまえた上で、図書館員が収集の対象となる学問分野の資料についての情報をどれだけ把握しているかにかかってくる。さらに、収集対象となる学問分野についての知識をある程度備えているとさらに適切な資料収集が可能となる。今回訪問した図書館では、ジョージ・ワシントン大学中央図書館のサブジェクト・スペシャリストや、ジョージタウン大学中央図書館のライブラリー・リエゾンといったシステムによって、教官と連携を取りながら適切なコレクション形成を行うための体制ができていた。

但し、本稿でもふれたように、アメリカの大学図書館における専門職の Librarian は、日本の大学図書館の図書館員とその位置付けや役割がかなり異なっている。また、2 ～ 3 年から 5 年程度ごとにポストの異動が行われる日本の国立大学図書館の職務体制も考慮に入れると、アメリカの大学図書館と日本の大学図書館を一律に論じるのは少々無理があると思われる。しかし、そうした条件下であっても、関わっている部局が収集対象とする学問分野についてのごく基本的な知識程度は、図書館員に求められるものであろう。そのような知識を短期間で一通り習得できるようなスタッフマニュアルを整備したり、そこから一歩進んで継続的に知識を吸収していくための仕組みを整えるなどの工夫を行い、教官と連携をとれるだけの状態を維持していくことが必要なのではないかと思われる。

資料選択については研究室主導により行われるのが日本の大学図書館の現状ではあるが、資料選択に限らず利用者サービス全般のレベルアップのためにもこのような取り組みは有益なのではないかと感じた。

6-3. アプルーバルプラン

アプルーバルプランについては、日本にも「見計らい」という類似したシステムはあるが、アプルーバルプランのようにシステマティックには行われていない。アプルーバルプ

ランは、契約した業者に資料の選択を委ねる一見受動的なシステムに見える。しかし、図書館から業者へのアプローチとしてプロファイルが存在している。プロファイルは資料収集方針に根ざして作成されており、資料選択の具体的な部分について図書館の意志表示をするものである。こう考えると、アプルーバルプランは決して受動的なシステムではないと言える。また、背ラベルの貼付や目録データの作成などといったサービスを付加することも行われており、全般的に合理性を追求したシステムであると言えよう。そして、今回訪問した大学図書館では、このシステムにより半数近くから 70%程度の資料が選択・購入されていた。

このシステムは、予算的な問題や様々な環境の相違から、日本の国立大学図書館にそのまま持ってくることができるようなものではない。しかし、「1．はじめに」で述べたように、アメリカの大学図書館と日本の大学図書館のコレクション形成に関する相違について、特にアメリカの先進性への興味から訪問のテーマを決定した私にとって、アメリカの大学図書館の資料選択の中心的な部分にアプルーバルプランという仕組みが存在していたことは、ある面意外なことであり、また大変興味深いことであった。

・最後に

今回の研修にあたっては、国際交流課の樋口征次専門員をはじめ、事務局の方々には大変お世話になりありがとうございました。

訪問先とのアポイントメントなど一切の手続きの仲立ちをしてくださった福岡アメリカンセンターのグレゴリー・クラウチ館長、同センター資料室レファレンス・スペシャリストの笠優子氏、福岡アメリカンセンターへの紹介をはじめ様々な面でお骨折りいただいた附属図書館の川瀬正幸情報システム課長に感謝いたします。

おわりに、熊谷俊夫事務部長をはじめとする附属図書館の方々、快くアメリカに送り出して下さった医学分館の方々にお礼を申し上げます。

OCLC (Online Computer Library Center) キルゴー館

オハイオ州立大学 Main Library

オハイオ州立大学 Prior Health Sciences Library

アメリカ国立医学図書館（National Library of Medicine）（右）
左手後方のビルは研究部門が入っているリスター・ヒルセンター

ジョージ・ワシントン大学 Melvin Gelman Library

アメリカ議会図書館（Library of Congress）ジェファーソン館

ジョージタウン大学 Dahlgren Memorial Library

ジョージタウン大学 Lauinger Memorial Library

C.5 Non-LC Collections

A. Government Documents

Organized by their Superintendent of Documents (SuDOC) number, this print and microfiche collection consists of items published by the Department of Health and Human Services. Most items remain in this collection for the nationally required five years. This collection, consisting of monographs and serials, is sent on a monthly basis from Main Library, which serves as a selected depository library. Many of these items are pulled from these shipments and sent to cataloging to be added to the regular LC collection.

C.6 Cataloging Backlog

Generally, a small number of items requiring original cataloging are in the backlog at Main Library.

D. Scope of Collecting Activity

The following LC classifications are significant to our collection:

QH (Genetics, reproduction, bioethics)
QP (Physiology)
QR (Microbiology, immunology, virology)
R (General Medicine, medical education, medical history)
RA (Public Health, epidemiology, preventative medicine, health administration)
RB (Pathology, pain management)
RC (Internal Medicine, oncology, neurology, psychiatry...)
RD (Surgery)
RE (Ophthalmology, optometry)
RG (Obstetrics and Gynecology)
RK (Dentistry)
RL (Dermatology)
RM (Pharmacology and Therapeutics)
RT (Nursing)

D.2 Access to the Collection

OSCAR, The OSU online catalog, is the primary means of access to the collection. OSCAR access is available at all OSU libraries and remote access to OSCAR is available to those OSU faculty, staff, or students researching from home or office.

BF-Psychology

General psychology textbooks should be acquired only on a minimal level (level 1). Journals, in general psychology should be acquired on an individual basis, depending upon the amount of coverage given to topics pertinent to medicine. The subjects of physiological psychology, mental deficiency, genetic psychology, publications on serious and crippling deviations, such as psychogenic or neurogenic speech disorders and psychoneuroses should be collected extensively (level 4). Material should be acquired on mental efficiency, intelligence, child psychology and development (level 2). If directly related to psychiatry, a more extensive collection will be necessary (level 4).

BL- Religion- The only aspects of religion pertinent to the collection are those related to science and medicine, such as, psychiatry and religion, medical ethics and religion, and conflict between religion and science. Such specialized topics should be collected at a minimal level (level 1). Medical ethics and humanities are covered under W and will be collected at level 4.

C,D- History-Will not be collected.
E,F

G - Geography- A current world atlas will be acquired for reference.

GN- Anthropology- A few works on physical anthropology will be collected at level 1.

GP- Anthropogeography- Will not be collected.

GV- Recreation- Sports and Physical Training - Physical measurements, physical test (motor ability, physical aptitude, capacity, etc.) are important to the practice of medicine and should be collected at the instructional level 3.

H - Social Sciences

（資料２）ジョージタウン大学Dahlgren Memorial Library資料収集方針

generally collect such popular works. The collections of both these libraries and those of other Consortium members are available for use by students and faculty of GWU on-site, through direct borrowing or through the Consortium Loan Service.

B. Other area resources

Reference and referral tools for collections in the area's major libraries are provided in Gelman's collections. Standards, which Gelman collects selectively, are readily available at the National Institute of Science and Technology (NIST) Library and at the Library of Congress.

III. GENERAL COLLECTION GUIDELINES

A. Language

English. English translations of works originally appearing in Japanese are acquired selectively.

B. Period of Coverage

While the collection contains some history of computer science material, emphasis is on current scholarship with most materials relating to work done in the last 30 years.

C. Dates of Publication

The collection contains materials published in the last half of the twentieth century but most materials were published in the last 20 years. Materials are considered as they are published; there is no systematic retrospective purchasing activity.

D. Geographical

No areas are excluded, but emphasis is on work done in industrialized countries, particularly the United States, Great Britain, Japan, and Russia.

E. Treatment of Subject

Emphasis is on upper undergraduate, graduate, and research level materials. Of primary importance are journals and other serials including proceedings and transactions of conferences, symposia, institutes, and other professional meetings. Reference materials including periodical indexes, handbooks, encyclopedias and dictionaries are important and are acquired selectively. Monographs supporting study and research in broad topics as well as narrow subjects are appropriate for the collection. Books on techniques and upper division and graduate textbooks are purchased selectively; lower division textbooks are ordinarily not purchased. Accompanying instructors' manuals are not acquired. Standards, technical reports and collections of previously published articles are selectively acquired, primarily in response to faculty requests relating to classroom activities. Non-GWU dissertations, biographical works, and materials treating the history of computing

Call #	Line #	Conspectus Title	CL	GL	Assessment Comments
	EC023	Other Asiatic Countries	3aE	3aE	
HA1951-2275	EC024	Africa	3aE	3bE	
HA3000-4010	EC025	Australasia & Pacific Islands	3bE	3bE	
HB	EC026	Economic Theory	4 E	4 E	
HB201-845	EC027	Value, Price, Wealth, Capital, Interest, Profit	3cE	4 E	
HB848-875	EC028	Population	0	0	See Demography assessment
HB879-3700	EC029	Demography	0	0	See Demography assessment
HB3711-3840	EC030	Crises, Business Cycles	3cE	~~3cE~~ 4E	
HC	EC031	Economic History & Conditions, Nat'l Production	4 E	4 E	American economic history supports Area Studies
HC59.7	EC032	Developmental Economics	3cE	4 E	Emphasize at graduate level
HC79	EC033	Environmental Policy	3cE	4 E	
HC100-240, HC242-700	EC034	Natural Resources	3bE	4 E	
HC241	EC035	European Economic Integration	4 E	4 E	
HD1-2320	EC037	Economics - Production (Industrial Management)	0	0	Refer to Business Administration
HD101-1395	EC038	Land	3cE	3bE	Supports Area Studies
HD1401-2210	EC039	Agricultural Economics	3cE	3bE	
HD2321-4800	EC040	Economics - Industry (General)	3cE	4 E	Refer to Business Administration, large industry and factory systems
HD2709-2930	EC041	Corporations, Trusts, Cartels	4 E	4 E	Refer to Business Administration
HD2951-3570	EC042	Industrial Cooperation, Mutuality	3bE	4 E	Refer to Business Administration
HD3611-4730	EC043	State & Industrial Organization	3cE	4 E	Refer to Business Administration, especially government ownership and regulations

Legend:
0 = Out of Scope
1 = MINIMAL LEVEL
1a = Minimal, Uneven Coverage
1b = Minimal, Even Coverage
2 = BASIC INFORMATION LEVEL
2a = Basic Information, Introductory
2b = Basic information, Advanced
3 = STUDY/INSTRUCTIONAL SUPPORT LEVEL
3a = Basic Study
3b = Intermediate Study
3c = Advanced Study
4 = RESEARCH LEVEL
5 = COMPREHENSIVE LEVEL
CL = CURRENT COLLECTION LEVEL
AC = ACQUISITION COMMITMENT
GL = COLLECTION GOAL
PC = PRESERVATION COMMITMENT

（資料４）ジョージタウン大学Lauinger Memorial Library資料収集方針

EVALUATION POINTS

Materials will be previewed and evaluated based on the following considerations:

1. Appropriate for placement in the library, not better suited for office use.
2. Meets the needs of the primary clientele.
3. Has there been a demonstrated demand for this product.
4. Are there published evaluations/references regarding the product.
5. User friendliness.
6. Are keyword and boolean searching allowed.
7. Quality of screen layout.
8. Availability of abstracts or full text.
9. Is there a print equivalent.
10. If a print form is available, what are the advantages to the electronic product.
11. Licensing requirements.
12. Is there duplication (or planned access) on OhioLINK.
13. Vendor reputation.
14. Vendor service.
15. Search speed.
16. Availability of printed support materials.
17. Security issues.
18. Is the product potentially networkable.
19. How is the cost of this product, compared to similar resources.

EQUIPMENT/STAFF NEEDS FOR ACCESSING THE RESOURCE IF ACQUIRED

1. Is the equipment needed to provide access already available?
2. If not, consider the following:
    a. The types of hardware and/or software needed
    b. Which budget will support the hardware
    c. Which budget will support the software
    d. Is outside financial support needed
    e. If so, who will the library turn to, who will pursue these resources
    f. If additional equipment is made available, where will it be located.
3. Can current staff maintain equipment and software, user assistance...
   Are there recommendations?

STAFF/USER TRAINING ISSUES

Resources may be very user-friendly and require little staff/user training. When training is necessary, consider:

a. Which staff need training
b. Who will conduct the training
c. Can vendor conduct initial training and provide end-user documentation
d. How will end-users/patrons receive training

1/96 Approved by Electronic Resources Committee
Lynda Hartel, Collection Development Librarian

（資料５）オハイオ州立大学Prior Health Sciences Library資料収集方針（Electronic Resources）

Prior Health Sciences Library
Detailed Approval Plan Profile
Prepared 6/98

F = firm order, we definitely want
A = approval only, we want to review online, by slip, or in-hand only
NO = we don't want to firm or receive on approval, we will request as needed (SOAP)

HUMAN ANATOMY	
Human anatomy (general)	F
Dissection	F
Regional anatomy	F
HISTOLOGY	
Comparative histology, Experimental histology	F
Histological techniques, Laboratory manuals, Microscopy	A
Histology (general works)	F
Tissue	F
EMBRYOLOGY	
Chromosome abnormalities	F
Congenital abnormalities, Mutagens, Teratogens	F
Drug induced abnormalities	F
Embryology (general works)	F
Sex differentiation/determination	A
PHYSIOLOGY, PHYSICS, MATH, ENGINEERING	
Biomedical engineering, Biophysics, Magnetics	A
Comparative physiology	F
Physiology (general works)	F
HUMAN PHYSIOLOGY	
Environmental exposure. Physiological adaptation	F
Exocrine Glands	F
Homeostasis	F
Human physiology (general works)	F
Physiological periodicity. Biological clocks. Circadian rhythm	F

（資料６）オハイオ州立大学Prior Health Sciences Libraryアプルーバルプランプロファイル

B	F	N	X				
__	__	__	__	27651230	Economic crisis	(SN:	Incl business cycles, depression)
						(SA:	Inflation (Economics)-27654220)
__	__	__	__	27651240	Interest & usury	(SA:	Credit management-276545)
__	__	__	__	27651250	Income & profit		
__	__	__	__	27651260	Consumption (Economics)		
__	__	__	__	27651270	Theory of production		
				*27651290	Poverty	(SU:	Applied interdisc social studies div-39)
__	__	__	__	276518	Macroeconomics	(SN:	The broad & general aspects of an economy)
__	__	__	__	276524	Microeconomics	(SN:	Economic behavior of or within components of society)
__	__	__	__	276530	Econometrics & statistics	(SA:	Mathematical statistics-602410)
__	__	__	__	276536	Economic growth & development		
__	__	__	__	276537	Public utilities	(SA:	Regulated industries-192850; Municipal engineering-6609)
__	__	__	__	276538	Government ownership	(SN:	ie of industries & corporations)
__	__	__	__	276539	Economics of industries	(SA:	Specific industries & trades-368004; Corporate finance-368009)
__	__	__	__	276540	Privatization		
__	__	__	__	276542	Money & banking div	(SA:	Banks & banking law-1986)
__	__	__	__	27654202	Money & banking		
__	__	__	__	27654220	Inflation (Economics)		
__	__	__	__	27654240	International banking	(SN:	Incl foreign exchange)
						(SA:	International economics-276554)
__	__	__	__	27654260	Savings institutions	(SN:	Incl credit unions, building & loan associations)
__	__	__	__	276545	Credit management	(SN:	Incl bankruptcy, insolvency)
						(SA:	Bankruptcy law-197420; Business mortality-36800230)
__	__	__	__	276548	Taxation div	(SA:	Farm land value & taxes-752813; Taxation law-1932; Public finance-276572)
__	__	__	__	27654802	Taxation		
__	__	__	__	27654820	Tax reform		
__	__	__	__	27654830	Tax exemption	(SA:	Tax evasion-193285)
__	__	__	__	276550	Specific types of taxation	(SA:	Terms under Taxation law div-1932)
__	__	__	__	27655010	Income tax		
__	__	__	__	27655020	Sales tax	(SN:	Incl VAT)
__	__	__	__	27655030	Property tax		
__	__	__	__	27655040	Inheritance tax		
__	__	__	__	27655050	Gift tax		
__	__	__	__	27655060	Business taxes		
__	__	__	__	27655090	Other specific taxes		
__	__	__	__	276554	International economics	(SA:	Foreign aid-279135; International business-368081; International trade regulation-1990; International banking-27654240)
__	__	__	__	276556	Economic alliances	(SA:	European Community-19982035)
__	__	__	__	276560	Economic planning/policy	(SN:	Incl monetary policy)
__	__	__	__	276563	Economic forecasting	(SN:	Incl zero-based budgeting)
__	__	__	__	276566	Comparative economics		

(資料7) ジョージ・ワシントン大学Prior Melvin Gelman Libraryアプルーバルプランプロファイル